

実践だけで儲かる投資の手法を見つければ至難の業だ

何百冊も本を読んでいいとこどりするほうがよっぽど効率的だよ

本当に儲かる手法なら本なんかで公開しないんじゃない？

疑問はある確かにある

そんなときはこいつで検証すればいいんだよ!!

ばんばん

人間の感覚に頼った手法は難しいけど

単純な価値のバターンを大丈夫だ

うーん……そのまま使えるネタってほとんどない

さすがにそんなに甘くないか

本で発表する前は機能してたんだけど発表したとたん使えなくなるのも多いだろう

攻略法ってそんなもんだ

プログラム組んでシミュレーションとかしてると

パチンコ時代を思い出すよ

雑誌に載ってるポーターラインをうのみにせず自分で調べてみたのが始まりだった

あのあとは自信を持って打てるようになったよ

今回もまったく同じ

欲しいのは統計に裏打ちされた「自信」だ!!

実はけっこう前から調べてたんだけどどれもいまいちでいろいろ自分なりの「味つけ」してるん

えっ!? 何だこりゃ!?

このやり方で9割近くの銘柄で利益が出るって!?! 本当かよ!?!

利益曲線もかなり安定してる!!

使えるんじゃないの!?!

この「システム」試す価値アリだ!!

今までのチャートを読むやり方と併用すれば収支が安定するぞ!!

きたきたきたきたきた

タカラ	573円 ↓
1/4	609円 ↑
1/7	635円 ↑
1/8	622円 ↓
1/9	633円 ↑
1/20	646円 ↑
1/21	664円 ↑
1/24	664円 ↑
1/25	671円 ↑

長い低迷のあと、出来高をともなう上昇、大爆発の予兆か！

1/13	タカラ	581円	500株買い
------	-----	------	--------

よし、2日連続で5000円分は出来た！！

1/2	安川電機	655円売り	+25,000円
-----	------	--------	----------

今月の取引、安川電機と工業用ロボットを共同開発したと、材料がホットだ

1/1	安川電機	630円	1000株買い
-----	------	------	---------

ほれ！見ろ！セーフ！！

タカラが業績悪化が予想される、社長が辞任した

下がって来たところで売った！！

1/27	652円	500株売り
------	------	--------

ピシッ

ぶっ！

1/13	安川電機	627円売り	▲33,000円
------	------	--------	----------

まだだよ、安川電機

1/13	安川電機	660円	1000株買い
------	------	------	---------

やはやれ

1/19	安川電機	679円売り	+19,000円
------	------	--------	----------

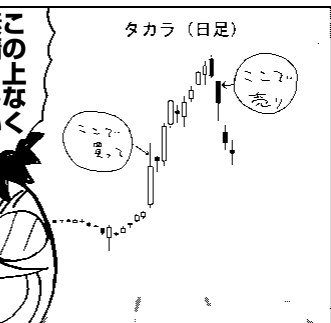
もう一丁！！

1/14	安川電機	660円	1000株買い
------	------	------	---------

びびっ

悪材料の出現も前もって示すんだよ

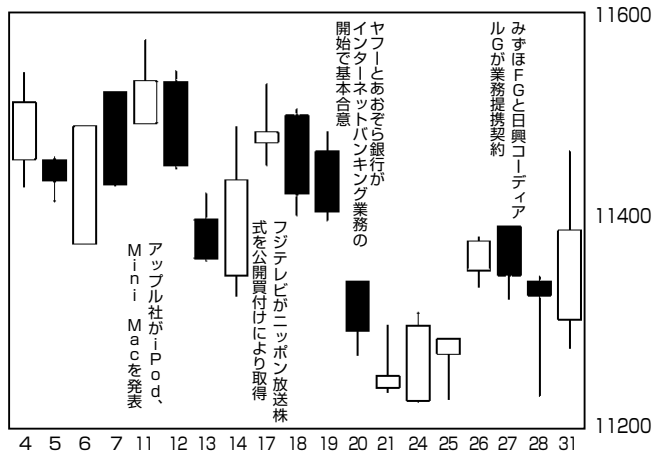
やっぱチャートはすべてを語ってるんだよ



荒動きの値動きにやられた

安川電機	1/11 → 1/2	+25,000円
安川電機	1/3 → 1/3	▲33,000円
安川電機	1/4 → 1/19	+19,000円
合計		+11,000円

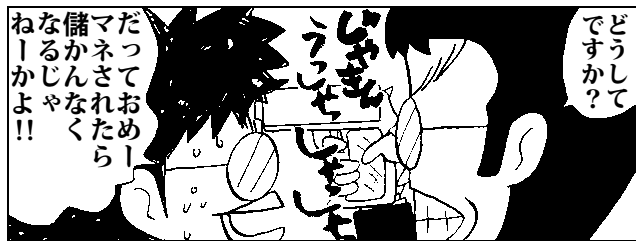
2005年1月の日経平均と主な出来事



悪材料 株価にとってマイナスとなる情報のこと。企業の業績下方修正や操業停止事故、円高などさまざま。

利益曲線 純資産曲線、エクイティカーブ。要はシミュレーションや実際の取引の結果、どういふ感じで利益が上がっていくか、ということを表したグラフ。最終的な利益率ももちろん大事だが、あまりガタガタと上下に振れず、一貫して右肩上がりを続けるのが理想。上下動の大きいシステムは、うまくいかない期間にはそれに従うのが精神的に難しくなってしまう。精神的な安定を得るためにシステムを開発するのは、それでは本末転倒だ。

ボダーライン（理論） デジタル式のパチンコは抽選確率が毎回一定のため1000円で15回回る台よりも、20回回る台のほうが、抽選回数は約1.33倍で当たりのチャンスがある（詳しくは次ページ）。



2005年1月末	
現金	4,747,692 円
持ち株	0 円
配当累計	44,493 円
合計	4,792,185 円
元本増減率+ 6.49%	
月収支	+ 32,510 円 (+ 0.68%)



Point 1

パチンコの必勝法を株に応用!!

勝つために今一番必要なこと……その答えは株の世界に「期待値理論」を持ち込むことであった!!

オレが株式売買でたどってきた道筋は、パチンコを打っていた経験に大きく影響されている。

意図したわけではないが、パチンコのように株式売買ができないものかと体が自然に求めた。裁量トレードで取引していたときの成績が、パチンコの成績に似通っていたのはそのためだろう。

パチンコには「ボーダーライン理論」という完ぺきな必勝法がある。

デジパチの当たり確率や連チャン率は機械的に決まっている。パチンコなら、デジタル（パチンコ台の図柄画面）をどれくらい回せる釘調整（パチンコ玉の流れを制御する釘などの角度の調整度合）になっているかで、勝てる台かどうかが決まる。

また、専門外だがパチスロの話をするれば、機械割り（出玉率。投入したメダルの累計枚数に対し、投入枚数を100%として「投入された枚数÷払い出された枚数」で

求められる数値）が100%を越えるかで勝てる設定の台かどうかが決まる。

そういう「期待値プラス」の台を選び続ければ、日々の勝ち負けはあるにせよ、長期的には必ず勝てるというのが「ボーダーライン理論」である。

株でそこまで分かりやすい手法を発見するのは不可能だと考えていた。第一、当たりの確率さえ分からないのだ。手の出しようがない。そう思っていた。

そんなとき、システムトレードという考え方に出会う。過去の価格データを使ってルールを検証し、有効な組み合わせを「システム」として使うことによって、儲けている人々がどうやらいるらしい。

ただ、それを最初に聞いたときは、かなり遠い話だと思った。相場は人間の心理が作り出すもので、そう単純に良いシステムができるものではない。少なくともオレには無理だと。

株で負けが込みだしたとき、ふたつのことを思い出した。

ひとつはパチンコ時代、雑誌に載っているボーダーラインを疑い、自分でシミュレーションしたこと。

もうひとつは、大学で心理学を学んでいたとき、人の心の働きに関する実験データ



2005年2月
ツマでも分かるライブドア



を統計的に処理していたこと。人間の心も統計的な手法を使えば、全部とはいかないまでも、部分的には解き明かすことができる。

株でも同じことが、コンピュータの力を借りればできるのではないか。なかにはパソコン台と同じくらい単純なパターンもあるのではないか。それを見つければ、完全にパソコンを打つように株式売買ができる――。

こんな感じで、割と必然的な流れで過去の株価データを調べ始めた。最初は苦労したが、徐々に「期待値プラス」のシステムを作れるようになった。

今では、売買システム開発がこれまでのオレの人生の集大成ともいうべき一大プロジェクトになりつつある。

